

令和 8 年度 第 2 回定例記者会見（説明内容）

〔資料 1 ページ〕

【市議会定例会日程】

9 月議会定例会は、会期を 8 月 25 日から 9 月 18 日までの 25 日間の予定で開催いたします。

〔資料 2 ～ 3 ページ〕

【定例会提案議案】

本定例会に提出する案件は、補正予算案件が 5 件、条例案件が 4 件、決算の認定案件が 11 件、計 20 件であります。

また、報告案件といたしまして、令和 7 年度に終了した継続費の精算など、計 10 件を提出いたします。

〔資料 3 ページ〕

【令和 8 年度 9 月補正予算（案）】

一般会計補正予算（第 2 号）は、6 億 6,825 万 1 千円を追加し、補正後の総額を、406 億 8,841 万 7 千円とするものであります。

特別会計は 3 会計の補正で、合計 3 億 9,687 万 6 千円を追加し、補正後の総額を 200 億 7,187 万 6 千円とするものであります。

このほか、農業集落排水事業会計の補正を合わせまして、今回補正額は、合計で 9 億 8,212 万 7 千円となっております。

次に、債務負担行為の補正について、ご説明いたします。

一般会計において、わらびが丘小学校外 2 校スクールバス運行管理業務委託の

契約が今年度末で終了となることから、新たに令和９年度から５年間の債務負担行為を設定するものであります。

【令和８年度９月補正予算（案）の概要】

「２．物価高騰対策介護サービス事業所支援事業」及び「３．物価高騰対策障害福祉サービス事業所支援事業」には、物価高騰の影響を受ける介護サービス事業所、障害福祉サービス事業所等の負担を軽減し、安定的なサービス提供体制の維持を図るため支援金を給付するもので、２事業合わせて1,690万円を計上しました。

「５．保育運営委託事業」には、「こども誰でも通園制度」実施に伴う施設建設工事に対する補助金1,736万４千円など、合わせて2,777万５千円を追加しました。

「６．物価高騰対策民間保育施設等支援事業」には、物価高騰の影響を受ける保育所、幼稚園、認定こども園等の事業運営の負担を軽減するため、支援金730万円を計上しました。

「７．放課後児童クラブ運営事業」及び「８．放課後児童クラブ施設整備事業」には、本年４月に開所された放課後児童クラブに対し、運営及び施設整備に対する補助金、合わせて1,409万６千円を追加しました。

「９．道路橋りょう費」には、道路維持事業に１億7,932万円、道路新設改良事業に4,970万円を追加しました。なお、追加分の道路補修工事費及び道路改良

工事費については、施工時期の平準化を図る観点から、繰越明許費を設定しております。

【令和 7 年度決算の概要】

予算現額424億3,100万円に対し、歳入決算額が408億1,600万円、歳出決算額が383億8,600万円で、歳入歳出差引額が、24億3,100万円となります。

そのうち、翌年度の繰越事業に充てる財源 3 億6,300万円を控除した実質収支額は、20億6,700万円の黒字という状況であります。

なお、実質収支額のうち10億4,000万円は、令和 8 年度に繰り越さず、財政調整基金に積み立てております。

歳入の決算額になります。

歳入決算額は、前年度より 4 億8,900万円の増となっており、主な要因は、個人市民税の大幅な増加による市税の増加や国の補正予算に係る普通交付税の追加交付（再算定）があったことなどにより、地方交付税が増加したことによるものです。

歳出決算額も前年度より増なっており、その額は 4 億1,300万円となっております。その主な要因は、水道施設の統廃合に伴う上水道事業やごみ処理施設運営費の増額による衛生費の増加や児童生徒が利用するタブレット端末の更新に伴う小中学校コンピュータ利用教育費や文化会館設備更新事業などの増額による教育費の増加によるものです。

【担当課説明】

- ・ 令和 8 年度香取市地域おこし協力隊の紹介（企画政策課）

- ・ 第18回香取小江戸マラソン大会を開催します（生涯学習課）
- ・ 重要文化財指定答申記念 文化財講演会「香取神宮文書とは何か？」の開催について（生涯学習課）

【参考資料】

- ・ 主な行事予定（秘書広報課）

【その他】

香取の逸品「落花生ぜんざい」（農政課）

株式会社オオノ農園（代表取締役：大野俊江）は、「食卓に常に落花生を置きたい」というコンセプトのもと、地元産落花生を使った「落花生ぜんざい」をはじめとする加工品を展開しています。

看板商品の「落花生ぜんざい」は、渋皮ごとやわらかく煮込んだ落花生に、砂糖とほんの少しの塩だけで仕上げた素朴な味わい。噛む力が弱い高齢者にも食べやすいようにと、全国のデパートや販売店を歩き回って研究を重ね、鍋を焦がしながら試作を繰り返して完成させました。

代表の大野俊江さんは、2015年に千葉県「食のちばの逸品を発掘」コンテストで金賞、2017年に農水省「6次産業化アワード」で地域連携賞を受賞するなど、商品づくりと地域を結ぶ取り組みが評価されています。落花生の消費拡大を目指し、驚きのある食品加工に挑戦し続けています。

商品はECサイト、道の駅、直売所など全国各地でお買い求めいただけます。